

八幡平市



かわいらしい7人の新入生を迎えた平笠小学校

新1年生があこがれの小学校生活を始める

市内小学校の入学式は4月6、7の両日、それぞれで行われました。市内各校合わせて211人の新1年生が真新しいランドセルを背負い、希望を胸にあこがれの小学生としてのスタートを切りました。

平笠小学校(佐々木英雄校長、児童46人)の入学式は4月6日、同校で行われました。緊張した表情で会場に入場した



在校生の手拍子で入場する寄木小学校の新入生

7人の新1年生でしたが、担任の先生に1人ずつ名前を呼ばれると、大きな声で元気に返事をしていました。

寄木小学校(菅野絹子校長、児童95人)の入学式は4月7日、同校で行われました。13人の新入生を前に高橋北英教育長は「これから楽しい勉強やおいしい給食、新しい友達が待っている小学校生活が始まります。毎日元気に登校し、一生懸命勉強などをがんばってください」と話し、入学を祝いました。

また、交通事故防止を目的に、市内の新1年生全員に、交通安全協会などから記念品が贈られました。

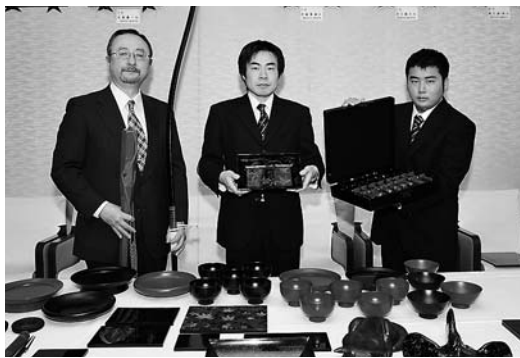
青年海外協力隊の隊員としてフリーピンに赴任する三浦直子さんは3月18日、市役所を表敬訪問し、市長に赴任先での活動などについて説明しました。

青年海外協力隊の活動には、学生時代から興味があったという三浦さん。食品メーカーで身に付けた技術を生かし、赴任先のフリーピンでは、食品加工企業で、商品アイデアの提案などを行います。三浦さんの活躍を期待します。

青年海外協力隊での活躍を期待しています



市役所を表敬訪問した三浦さん



修了生の津嶋さん、田山さん、立花さんとその作品

安代漆工技術研究センターの修了証書授与式は3月27日、安代総合支所で行われました。20年度で修了の研修生は、田山佑さん、立花裕さん、津嶋繁樹さんの3人。研修期間を振り返り「基本からしっかりと学ぶことができた」「これほど充実した毎日は今までなかった」など感想を聞かせてくれました。田山さんは漆器工房で、立花さんは自宅で、津嶋さんは自身の工房で、それぞれ今後も活動を続けます。

伝統の漆塗りを継承する3人の新たな門出